

<要請書簡和訳>

2013年2月22日

メキシコ大統領  
エンリケ・ペーニャ・ニエト閣下

メキシコにおける労働組合権の侵害に関する要請

我々 JCM、インダストリアル・JAF、UAゼンセンは、インダストリアル・グローバルユニオンの日本加盟組合を代表し、メキシコ政府に対してメキシコ労働者の迫害された正義を回復し、結社の自由確立を呼びかけるメキシコ労働者と世界中の労働者の連帯行動に賛同致します。

「メキシコ行動デー」と名付けられたこの連帯行動は、2013年2月18日から24日の日程で行われます。インダストリアル・グローバルユニオンは、この連帯行動においてメキシコ政府に以下を要請いたします。

- 2006年2月19日にパスタ・デ・コンチョスで亡くなった鉱山労働者65人の遺族のために公正な措置を講じること。
- 労働者に民主的代表権と団体交渉権を与えない使用者優位の保護協約の利用を撤廃すること。
- 組合活動家の解雇を奨励し、下請契約を増加させ、不安定雇用の大幅な拡大を招く2012年12月1日制定の労働法を廃止すること。
- 不当解雇された組合活動家（SME、PKC、Vidriera de Potosi/グルポ・モデロ、ホンダ、CalzadoSandak/Bata）を復職させ、自由で公正な選挙（PKC、エクセロン、ホンダ、アテント）の実施を認めること。

社会的・経済的公正の実現の観点から、現状が一刻も早く修復されるよう、ご対応をお願い申し上げます。

西原 浩一郎  
インダストリアル・グローバルユニオンアジア太平洋地域議長／JCM議長

島田 尚信  
インダストリアル・グローバルユニオン副会長／インダストリアルJAF議長

逢見 直人  
UAゼンセン会長